

社会・地理歴史・公民における一人一台端末を活用した授業案

校種・学年 分野（科目）	地理歴史 (日本史探究)	単元名	近現代を通した歴史の画期
-----------------	-----------------	-----	--------------

育みたい社会的事象について 調べまとめる技能	一人一台端末活用の効果	使用するアプリ
【情報をまとめる技能】 日本の近現代の歴史を俯瞰し、年表に様々な歴史的事象の意味や意義、関係性を構造的に整理して多面的・多角的に考察することで、近現代を通した歴史の画期を見だし、根拠を示して表現できる。	ファイル共有機能を活用することで、自分が構築した考えと他者の考えを相互に確認することができる。また、共同作業を通して、より多面的・多角的な考察をすることができる。	・ Google スプレッドシート ・ Jamboard

★一人一台端末を活用する場面

授業の概要	近現代史のまとめ学習として、自分が考える近現代における歴史の画期について、グループ活動を通して、構築する。	
	学習内容・活動	一人一台端末の活用ポイント
	1. 近現代の学習を振り返り、3つの観点（「政治」、「経済・産業」、「生活・文化」）から、どのような画期を見いだすことができるのか、観点ごとのグループに分かれて考える。 ①各自で割り当てられた観点から画期を見だし、Google ドキュメントに入力する。 ②Google ドキュメントに入力された各自の画期をグループで共有し、グループの考えをまとめる。 2. 各観点のメンバーが混在したグループになり、それぞれの観点で見いだした画期を、Jamboard の付箋機能を活用して紹介する。 3. 年表に示された3つの観点からの画期の関連性を Jamboard に入力していく。 4. Jamboard に整理された、3つの観点による画期を参考にして、近現代の歴史を通した画期について、自分の考えをワークシート（Google ドキュメント）にまとめ、提出する。	★Google スプレッドシートを共有することで、メンバーの考えを確認することができる。 ★近現代の年表を背景にした Jamboard に、3つの観点による画期を付箋で示し、可視化することで、構造的な把握がしやすくなる。 ★ワークシートは、Google classroom を通して、提出し、教師が授業後に各自の画期を一覧にして、紹介する。

★使用する教材など

<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの観点ごとの Google スプレッドシート ・ 近現代（明治元年から令和まで）の年表を背景にしたジャムボード ・ 自分の画期をまとめるワークシート（Google ドキュメント）

★ワークシートのイメージ

① Google ドキュメントを活用するワークシート ※同時編集して、他のメンバーの考えを確認する。

日本史探究ワークシート①【A(政治)グループ用】

【課題】
日本の近現代の歴史における画期（分岐点・転換点）はどこか？ 政治の視点から考えてみよう。

■あなたが考える政治面における画期はどこか？ 世界（外国）・地域社会との関係性も踏まえて考えよう。
※画期は複数でもかまいません。

氏名	【画期】	【根拠】

■グループで話し合った画期と根拠をまとめましょう。

【画期】

【根拠】 ※世界と地域社会との関係性も踏まえてまとめましょう

②Jamboard を活用するワークシートの作成例 ※付箋機能などを利用してまとめる。

